

5年生 稲の栽培 餅つき

野田市長をお招きし、地域の方々のご支援をいただきながら、今年も田植えを行いました。苗を育てていただいた関根ファームの方、田んぼをお貸しいただいている地域の方本当にありがとうございます。食べ物ができるまでを身をもって体験できる田植え。秋の収穫が楽しみです。

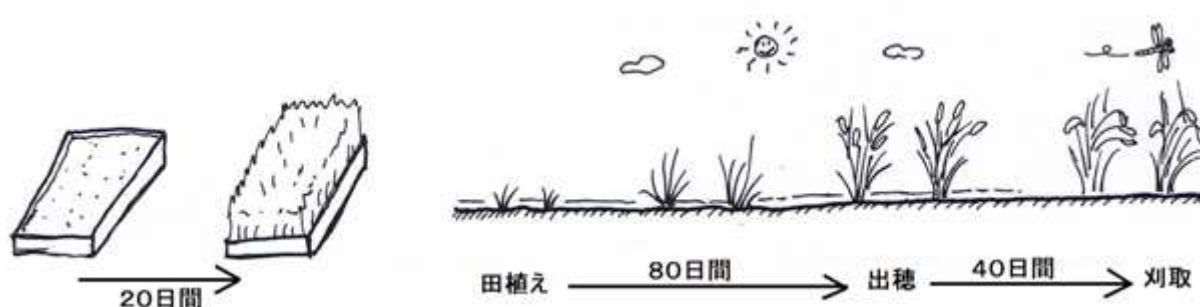


心配で稲を観察に行きました。5月の9日に田植えを行い20日が経過しました。苗は、活着し成長をしています。ちょっと引っ張ってみましたが、抜ける気配はありません。やがて花が咲き、実がなります。収穫が楽しみです。



<参考>ちょっと調べてみました。お米がとれるまでどのくらい日数がかかるのかな？

田植えをしてから稲刈りをするまでの日数は、場所や水稻の品種によってことなります。三谷の棚田でつくるコシヒカリは、田植えをしてから稲穂が出るまでが約80日、稲穂が出てから稲刈りができるまで約40日かかります。さらに、田植え前に苗を育てる期間が20日ほどかっているため、コシヒカリは約140日かけてお米を実らせていくのです。とのことでした。



稲も穂が出そろい、あとは実りの秋を待つばかりになりました。3校合同の除草作業でした。曇天の中、気温が上がる前の8時～児童含め、地域の方々・教員約50名で畔の草取り、田んぼの田の草取りを行いました。2時間後には、きれいに草が無くなりました。



天候も回復し、東部学童農園の稲の穂も日に日に色づき始めています。トンボも多く飛び交い、秋の訪れを感じます。20日後の稲刈りが楽しみです。



実りの秋！稲刈りを7日に控え、3校で稲刈りの合同会議を開始しました。稲の刈り方を清水コーディネーターから丁寧に教えてもらいました。



春に植えた稲は、すくすくと育ち、黄金色の穂を付けていました。一斉に稲刈りを行い、たくさんの粃を収穫しました。東部地区長の深津さん、東部地区、福田地区の土地改良区の皆様、更生保護女性会、PTA 役員・保護者の方々、市役所の農政課の方々、そして関根ファーム・地域コーディネーターの清水さん・・・多くの方々の支援ありがとうございました。



乾燥をして、今日は脱穀体験です。約 50 年前の脱穀機を使いました。昔の人は、人力で脱穀できるこんな良い機械を考案したかと思うと、感動します。資料館にあります。機会があれば是非ご覧ください。



釜でお湯を沸かし、もち米をふかし、杵でペッタン、ペッタン美味しい餅を作ります。きな粉やあべかわ、大根おろしなどさまざまな味で餅を楽しみました。更生保護女性会、地域教育コーディネーター、PTA 役員の皆様の協力でスムーズに餅つきを行うことができました。

